

東北森林管理局における 保護林・緑の回廊の概要について

平成28年3月8日

東北森林管理局 計画課

東北森林管理局の保護林の設定状況

国有林野面積と保護林面積

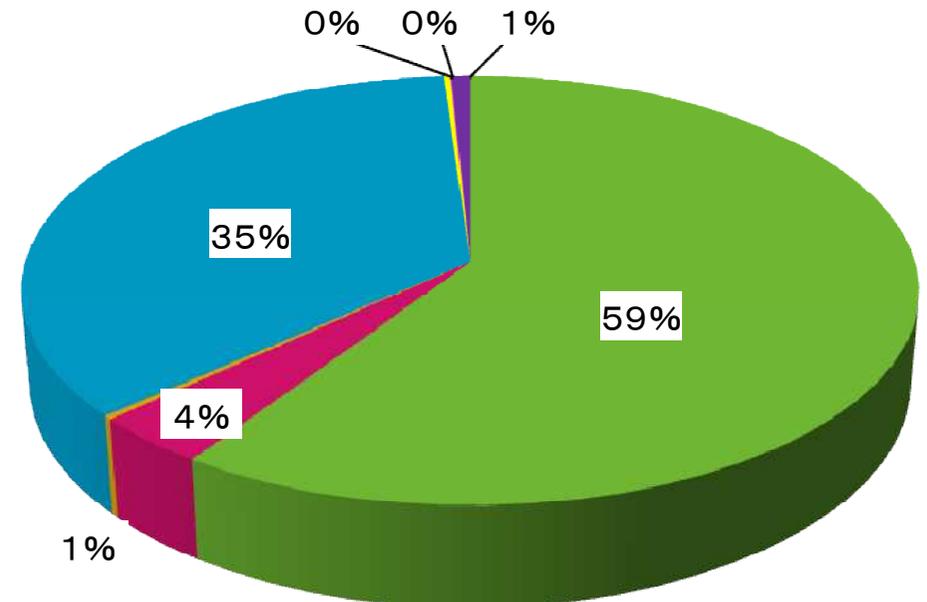
	面積 (ha)	割合	箇所数
国有林野	1,648,062		
保護林	201,345	12%	131

注:平成27年4月1日現在。



保護林の区分別面積

保護林	面積 (ha)	割合	箇所数
森林生態系保護地域	119,560	59	8
森林生物遺伝資源保存林	7,601	4	2
林木遺伝資源保存林	564	1	40
植物群落保護林	71,416	35	65
特定動物生息地保護林	514	0	6
特定地理等保護林	100	0	3
郷土の森	1,590	1	7
合計	201,345	100	131



森林生態系保護地域の概要

【国有林野全体】30箇所、655千ha

【目的】

原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。

【設定基準】

- ・我が国の主要な森林帯を代表する原生的な天然林の区域であって、原則1,000ha以上の箇所
- ・その地域でしか見られない特徴を持つ希少な原生的な天然林の区域であって、原則500ha以上の箇所

【東北森林管理局管内】8箇所、120千ha

保護林名称	位置	設定目的
白神山地	青森県 秋田県	白神山地における日本海型の典型的なブナ林を主体とする原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。
恐山山地	青森県	宇曽利山湖を取り巻く恐山山地は、代表樹種であるブナにヒバ(ヒノキアスナロ)が混生する原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。
早池峰山周辺	岩手県	早池峰連峰と薬師岳連峰を中心とする区域に、ブナ及びヒバ(ヒノキアスナロ)を主体とする原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。
葛根田川・玉川源流部	秋田県 岩手県	奥羽脊梁山脈の岩手・秋田県境に、日本海型のブナ林を主とする原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。
栗駒山・栃ヶ森山周辺	秋田県 岩手県 宮城県	栗駒山・栃ヶ森山周辺は、冷温帯性落葉広葉樹林の原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。
朝日山地	山形県	朝日連峰は、地域の主要部分には人為の介入がほとんどなく、我が国最大規模のブナ林等原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。
飯豊山周辺	山形県	飯豊連峰は、豪雪地帯における山地帯から高山帯までの典型的な垂直的森林帯を有しており、その原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。
吾妻山周辺	山形県	吾妻連峰は、山地湿原、雪田草原等の変化に富んだ景観を有しており、アオモリトドマツを主とする原生的な天然林が広範囲に維持されており、これらを保存する。

森林生態系保護地域（位置図）



白神山地

葛根田川・玉川源流部

栗駒山・栃ヶ森周辺

飯豊山周辺

吾妻山周辺

恐山山地



早池峰山周辺



朝日山地



● 森林生態系保護地域

森林生物遺伝資源保存林の概要

【国有林野全体】15箇所、75千ha

【目的】

森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に広範に保存し将来の利用可能性に資することを目的とする。

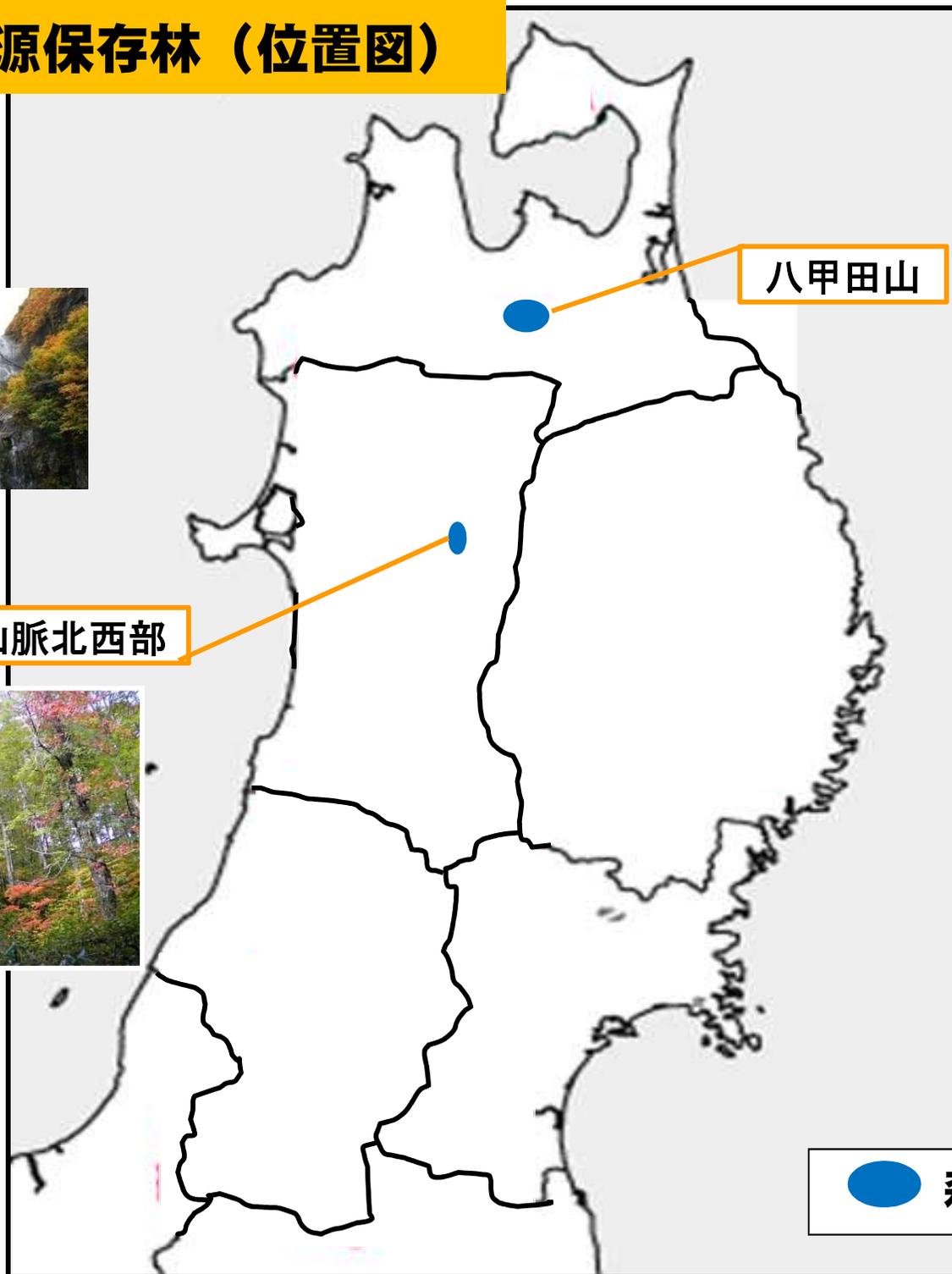
【設定基準】

- ・我が国の森林生態系の類型を代表し、自然状態が十分保存された天然林を主体とする森林であって、原則1,000ha以上の箇所
- ・その地域でしか見られない特徴を持つなど地域の森林生態系の類型を代表し、自然状態が十分保存された天然林を主体とする森林であって、原則500ha以上の箇所

【東北森林管理局管内】2箇所、8千ha

保護林名称	位置	設定目的
八甲田山	青森県	自然状態が十分に保存された天然林を主体とする森林が広く分布しており、多様な動植物、微生物が生息・生育し、生物多様性に富むため、これらの生物遺伝資源を保存する。
奥羽山脈北西部	秋田県	高海拔地にブナ林、天然スギ林、クロベ・キタゴヨウ林、低木林、中間湿原等がまとまって発達し、国内では他に例がなく貴重であることから、これら森林と一体となって自然生態系を構成する全ての生物遺伝資源を保存する。

森林生物遺傳資源保存林 (位置圖)



奥羽山脈北西部



● 森林生物遺傳資源保存林

林木遺伝資源保存林の概要

【国有林野全体】320箇所、9千ha

【目的】

主要林業樹種及び希少樹種等に係る林木遺伝資源を森林生態系内に保存し、将来の利用可能性に資することを目的とする。

【設定基準】

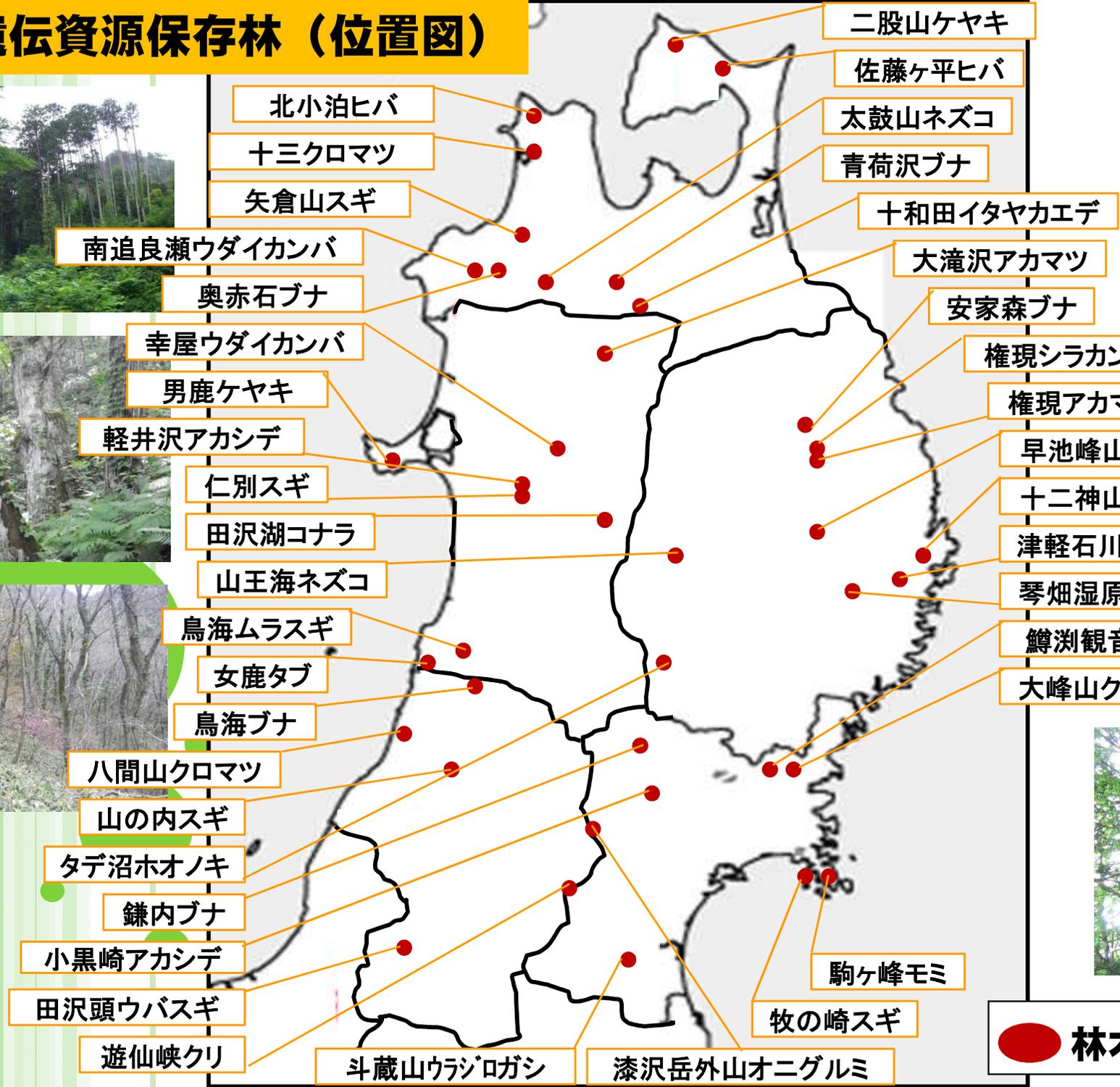
- ・主要林業樹種及び希少樹種等に係る林木遺伝資源とする。
- ・設定する森林は原則として天然林とするが、特に必要がある場合は人工林であることを妨げない。
- ・林木遺伝資源保存林の1箇所当たりの保存検討樹種ごとの個体数及び生立状態については、原則として繁殖力の旺盛な個体を集団的に100本程度含むもの。

【東北森林管理局管内】40箇所、1千ha

主な保護対象樹種

・スギ	・ブナ	・ネズコ	・ヒバ	・クロマツ	・アカマツ	・モミ	・ケヤキ
・オニグルミ	・ミズメ	・アカシデ	・コナラ	・ホオノキ	・カヤ	・タブノキ	・クヌギ
・イタヤカエデ	・ウダイカンバ	・イヌブナ	・シラカンバ	・ハルニレ	・ウラジロガシ		

林木遺伝資源保存林（位置図）



 林木遺伝資源保存林

植物群落保護林の概要

【国有林野全体】372箇所、161千ha

【目的】

我が国または地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する個体の維持を図り、併せて森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。

【設定基準】

- ・希少化している植物群落が存する地域
- ・分布限界等に位置する植物群落が存する地域
- ・湿地、高山帯等、特殊な立地条件の下に成立している植物群落が存する地域
- ・歴史的、学術的に価値の高いものとして伝承されてきた巨木等が存する地域
- ・その他保護が必要と認められる植物群落及び個体が存する地域

【東北森林管理局管内】65箇所、71千ha

主な保護対象群落

- ・高層、低層湿原の群落
- ・高山、亜高山帯の群落
- ・風衝地帯の群落
- ・多雪山地帯の群落 など

植物群落保護林 (位置図)



● 植物群落保護林

特定動物生息地保護林の概要

【国有林野全体】39箇所、23千ha

【目的】

特定の動物の繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資することを目的とする。

【設定基準】

- ・稀少化している動物の繁殖地又は生息地
- ・他に見られない集団的な動物の繁殖地又は生息地
- ・その他保護が必要と認められる動物の繁殖地又は生息地

【東北森林管理局管内】6箇所、1千ha

保護林名称	位置	設定目的
イタダキ沢コキクガシラ コウモリ	岩手県	松ヶ沢鍾乳洞に生息するコキクガシラコウモリの繁殖の保護
魚取沼鉄魚	宮城県	国指定天然記念物魚取沼鉄魚生息地」周辺の環境の保護
森吉山クマゲラ	秋田県	国の天然記念物「クマゲラ」とその他鳥獣の生息地及び繁殖地の保護
男鹿山アオサギ	秋田県	アオサギの集団繁殖地であるスギ天然林の保護
真昼岳モリアオガエル	秋田県	真昼岳の北斜面に位置する松長根沼に生息しているモリアオガエルの生息地の保護
鶴間池モリアオガエル	山形県	鳥海山南側に位置する県指定天然記念物「鶴間ヶ池のモリアオガエル繁殖地」の保護

特定動物生息地保護林（位置図）

森吉山クマゲラ



男鹿山アオサギ

真昼岳モリアオガエル

鶴間池モリアオガエル



イタダキ沢コキクガシラコウモリ



魚取沼鉄魚



特定動物生息地保護林

特定地理等保護林の概要

【国有林野全体】33箇所、37千ha

【目的】

我が国における特異な地形、地質等の保護を図り、併せて学術研究等に資することを目的とする。

【設定基準】

・特異な地形、地質等を有するもののうち、特にその保護を必要とする区域

【東北森林管理局管内】3箇所、0.1千ha

保護林名称	位置	設定目的
猿ヶ森ヒバ埋没林	青森県	東通村の猿ヶ森地内に位置し、800～1,000年前にヒバが直立したまま埋もれたと言われており、埋没林とその環境の保護
法体の滝	秋田県	鳥海火山から流出した法体溶岩によりせき止められた大きな滝で、法体の滝及び周辺の地形・地質等の保護
荒砥沢	宮城県	特異な災害地形のみならず、我が国における今後の防災対策等に関する貴重な地質・地形がまとってみられ、学識経験者からも高い注目を受けていることから保護

特定地理等保護林（位置図）

猿ヶ森ヒバ埋没林



法体の滝



荒砥沢



● 特定地理等保護林

郷土の森の概要 **【国有林野全体】40箇所、4千ha**

【目的】

地域における象徴としての意義を有する等により、森林の現状の維持について地元市町村の強い要請がある森林を保護し、併せて地域の振興に資することを目的とする。

【設定基準】

- ・木材産業、農林業等地域の産業との調整が図られていること。
- ・森林管理局長と市町村長の郷土の森保存協定が締結され、国有林野の管理経営上支障がないこと。

【東北森林管理局管内】7箇所、2千ha

保護林名称	位置	設定目的
みろくの滝	青森県	みろくの滝を保護するとともに、森林を活用し、広く住民の学習、憩いの場として活用を図る。
橋野鉄鉱山	岩手県	産業景観を保全するとともに、教育や文化的に利用可能な「自然と歴史が織りなす緑の空間」を創出し、釜石市の活性化や郷土への誇りの醸成を図る。
松尾観世音	宮城県	松尾観世音を中心に自然の保全を最優先にしつつ、人々が自然に触れて楽しみながら学習できる憩いの場として活用を図る。
たしろ白神	秋田県	当該地の森林を将来にわたって保全するとともに自然と調和した整備を行い、地域住民と自然とのふれあいの場、自然観察の場等として活用することにより、地域の活性化と振興を図る。
ふたつい白神	秋田県	当該地の森林を将来にわたって保全するとともに自然と調和した整備を行い、地域住民と自然とのふれあいの場、自然観察の場等として活用することにより、地域の活性化と振興を図る。
天正の滝	秋田県	当該地の森林を将来にわたって保護するとともに、森林を活用した住民の学習、自然観察、憩いの場として整備することにより、地域の活性化と振興を図る。
おぐに白い森	山形県	当該地の森林を将来にわたって保護するとともに、森林を活用した住民の学習、自然観察、憩いの場として整備することにより、地域の活性化と振興を図る。

郷土の森（位置図）



たしろ白神



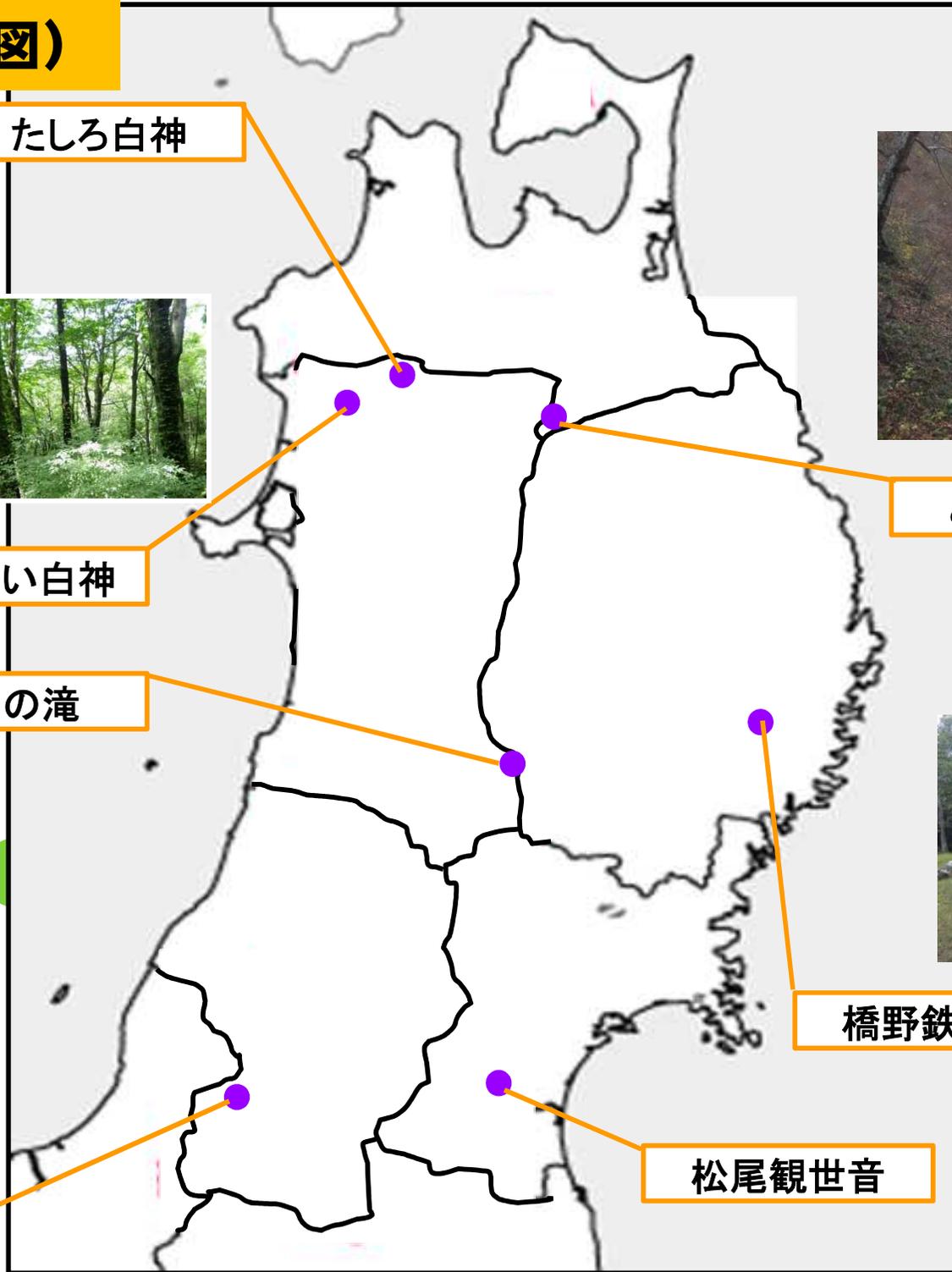
ふたつい白神



天正の滝



おぐに白い森



みろくの滝



橋野鉄鉾山



松尾観世音



郷土の森

緑の回廊の概要 【国有林野全体】24箇所、583千ha

【目的】

生物多様性の保全を図るため、野生動植物の移動経路を確保し生息・生育地の拡大と相互交流を促すために設定。

【設定基準】

- ・原則として、既存の保護林をそれぞれ連結するとともに、森林生態系として保護・保全することが相当と判断される規模、形状を有するものとなるよう設定する。
- ・ルートは原則として尾根、沢等の明確な地勢線により区画し林小班単位で設定する。
- ・緑の回廊の幅と長さは、野生動物の生息分布、行動特性、植物の交配・種子散布特性等を勘案して決定する。

【東北森林管理局管内】5箇所、178千ha

緑の回廊名称	設定年度	延長(km)	面積(ha)
奥羽山脈	H12	400	72,547
白神八甲田	H13	50	21,940
北上高地	H13	150	26,382
鳥海朝日・飯豊吾妻	H15	235	46,687
八幡平太平山	H17	60	10,836

緑の回廊（位置図）

白神八甲田緑の回廊



八幡平太平山緑の回廊



鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊



北上高地緑の回廊



奥羽山脈緑の回廊



— 緑の回廊
— 保護林

